24点が入賞 「社会を明るくする運動」標語入賞作品 笑顔あふれる明る

【最優秀賞】

【優秀賞】 金色の町に輝く 自分達で創る 心のブ 平和 今も続く さわやかに 平和の浄土

あいさつを

自分からしよう

【優良賞】 桜咲く 挨拶が 努めよう非行の防止 明るい 帰ろうよ 善と悪 やめようと 「こんにちは」その一 笑顔が咲く我らの町から こんにちは こんにちは みんなでつくる あいさつで しない、させない、ゆるさない あいさつは 支え合おう な手 あいさつ あいさつ だれでも分かる あいさつ交わし 犯罪防止の みんな待ってる 人の印象 染めるかどうかは 心と絆が 非行ぼうしを 笑顔広がる 魔法の言葉 その一言で 言いだす勇気が 明るい声を 非行のない町 心が晴れる 防ごう犯罪 鍵となる つくろう明るい社会を 深まる愛言葉 変わってく 忘れずに 犯罪·非行 夢が咲く 皆笑顔 君のこと 身に付けて いい笑顔 大切だ。 つくろうみんなの心 君次第 平泉 絶対防止

した。おめでとうございます。(敬称略)

言で救える未来がある やめよう犯罪

させない 認めない

【特集】

平泉大文字送

り

受け継がれる想

V

ぜそこに「大」の文字ができたのか、知っているよえる「大」の文字。昔から変わらない町の風景だ。し

でいるようで知 で景だ。しかしな とくっきりと見

ふと東稲山に連なる駒形峰を見上げるとくっ

らない平泉大文字送り火の歴史。

れ、受け継がれてきた。そこに込められている想いを知る

平泉大文字送り火はさまざまな人たちによって支えら

ことで、いつもとは違う風景が見えてくるはず

《平泉大文字送り火とは?》

16日夜、藤原四代、義経主従の追善と先祖代

広報ひらいずみ No. 711

今年で52回目を数え、平泉の夏を彩る風物詩。

は東日本大震災の物故者供養も併せて行っている。 社団法人平泉観光協会主催の行事。2011年から の精霊を供養するため、駒形峰に送り火をたく一般

平成28年度「社会を明るくする運動」の一環として、次代を 担う平泉中学校の全生徒を対象に標語の募集を行いました。

応募いただいた203点を審査した結果、次の24点が入賞しま

浄土の町、平泉

なくそう非行

髙橋 一陽(1年)

優磨(3年) 椿(2年)

佐々木あゆな(3年) 田華南斗(2年)

菊田 髙橋えり奈(3年)

小野寺紅葉(2年)

慈英(1年)

佐々木海真(1年)

ろえを探りました。

このうち農産物のグル

寺美歩(1年) 花(1年)

藤江 綺星(1年) 夢生(1年)

新奈(3年) 優斗(3年) 朱乃(2年) 陽香(2年) 頼輝(2年) 夢人(2年) 健(2年)

の輪

芽衣(3年) 瑞斗(3年)

道の駅平泉

~黄金花咲く理想郷~

9月の活動予定

▷農産物などの産地間交流に 向けた協議

▷農産物の端境期対策の検討 ▶年間イベントの企画

道の駅平泉の完成予想図



中尊寺東物見台から見た駒形峰

向けた取り組みや魅力ある品ぞ ・プで

真剣な表情で意見を交わす出荷登録者たち

備品や売り場の き出して一覧にし、必要となる 荷できる加工品とその数量を書 などについて話し合いました。 について意見を交換しました。 れが、漬物や総菜、菓子など、出 加工品のグループではそれぞ

広報ひらいずみ No. 711 2

考える2回目の品目検討会が8直売施設への出荷品目について 第2回品目検討会 「道の駅平泉」内の農産物等

参加。農産物と加工品の2グ 検討会には、出荷登録者25人が 月19日、役場で開かれました。同 ループに分かれ、品目の確保に

品不足解消に向け、育苗 認。冬期間から春先にかけての 者への売り たほか、栽培講習会の開催 の集約化について意見を交わ た出荷スケジュール表を再確 は、前回の品目検討会で作成

、上げ情報の発信方法 ハウス